



# 自活だより



令和3年度 鹿児島聾学校  
自立活動係 N o .3

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉どおり、残暑もおさまり涼しくなってきました。季節の変わり目は、体調を崩しやすいです。健康管理に気を付けましょう。自活部では、年に一回の補聴器性能チェックを実施しています。チューブが堅くなっていたり、電池室がさびていたりする補聴器もあるようです。故障の原因にもなりますので、日頃から補聴器、人工内耳のチェックを心掛けましょう。

## ★ 補聴器や人工内耳は、元気ですか？ チェックをしましょう！！



### ケース

- われたり、ひびが入っていたりする。
- ねじがゆるくなり、くるくる回る。

### フック

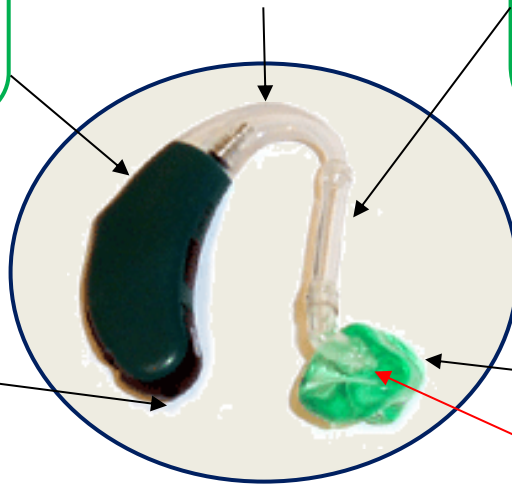
- 中に汚れがたまっている。
- ねじがゆるくなり、くるくる回る。

### チューブ

- カチカチにかたくなっている。
- イヤモールドや補聴器からぬけやすい。
- 色が黄色くなっている。
- 中に汚れがたまっている。

### 電池ホルダー (電池室)

- カチッと閉まらない。パカパカとすぐに開く。
- 中に、茶色や緑の錆がついている。



### イヤモールド

- さけたり、われたりしている。
- ジョイントのところがゆるくなっている。

※ ✓(チェック)がついたときは、担任の先生や自立活動の先生に知らせましょう。

## ★ 毎朝、補聴器や人工内耳、電池の確認をしましょう。

- かばんに電池の予備がありますか。
- かばんに補聴器ケースがありますか。
- かばんに汗カバーの予備がありますか。
- 補聴器はスイッチが入りますか。
- イヤモールドの中は汚れていませんか。

